

令和5年度 第3回公民館運営審議会
議事録（議事要旨）

1 開催日時 令和5年12月8日（金） 午前10時開始

2 開催場所 高洲公民館 研修室

3 出席者

[委員]

勝田委員（委員長）、谷口委員（副委員長）、佐々木委員、柗委員、長島委員、大川委員、梅本委員、泉澤委員、林委員、（欠席者：3名）

[事務局]

生涯学習部長、生涯学習部次長（高洲公民館長事務取扱）、中央公民館長、堀江公民館長、富岡公民館長、美浜公民館長、当代島公民館長、日の出公民館長
高洲公民館職員3名

4 傍聴者 1名

5 議事

（1）報告事項

公民館主催事業（4月～9月）実施状況

（2）審議事項

公民館主催事業（1月～3月）開催計画

（3）協議事項

公民館主催事業の基本体系について

6 会議経過

開 会

会議の開催にあたり、冒頭で委員長及び生涯学習部長（事務局）より挨拶があった後、次第に沿って議事が進行された。

（1）報告事項

公民館主催事業（4月～9月）実施状況について、各委員からの意見や質問の概要は以下のとおり。

委 員 富岡公民館で実施した退職校長会との連携事業について、参加者数が多い印象を受けるが、どのような内容を実施したのか伺う。

事 務 局 講師となる退職校長の方に事前アンケートを取り、ボッチャ体験や科学実験など、講師の方の得意分野で取組みを実施した。学童とも連携したため参加者数が多くなっており、今後は他の公民館にも拡大していきたい。

（2）審議事項

公民館主催事業（1月～3月）開催計画について、事務局から資料に基づいて説明をした後、各委員からなされた意見や質問の概要は以下のとおり。

委員 中央公民館で、インターネットリテラシーを学習することが「ねらい」となっている事業について、内容はゲームやアニメーションとなっている。ねらいと内容が一致していないと感じる。

事務局 ネットゲームの通信に際してもリテラシーが必要となると考えている。ご意見を踏まえ、分かりやすい表記となるよう、記載内容についても研究したい。

委員 家庭教育講演会について、対象が中学生までの子を持つ保護者である理由を伺う。内容の「睡眠」は、中学生までの問題に限定されないと考える。

事務局 告知の関係で、まずは中学生までの子を持つ保護者に着目いただけるよう、この表記とした。参加は、中学生以上の子を持つ保護者でも可能としている。

委員 中央公民館の主催事業は毎回新たな企画が出ているイメージがある。他の公民館も統一して、市民の声などを受け入れて事業を実施する態勢ができると、さらなる活性化が期待できる。事業の実施にあたり、講師の選定方法を伺う。

事務局 現在、令和6年度の主催事業を検討しており、横の連携を図り効果的な主催事業や運営ができるよう努めている。講師については、先方からの打診もあれば、企画に合わせて他市等での実績をみてお声かけすることもある。

委員 日の出公民館の、「たこ作り」と「パン作り」事業の参加費は無料か。

事務局 材料費として「たこ作り」は1組200円、「パン作り」は1組1,200円を徴収する。

委員 各事業に主催事業の基本体系の番号が振られているなか、「3. 高齢者への取り組み」の対象事業がない理由を伺う。

事務局 今回は1月～3月に新たに実施する事業を記載している。実際にはこの期間も複数の高齢者に係る事業を、年間を通し継続的に実施している。

委員 企画を振り返る際、受講者アンケートだけでは講義や講師を評価できないと感じる。職員も実体験として一緒に聴講する必要があるのではないか。また、公として政治や宗教に偏った内容でないか、改めて確認する必要がある。

事務局 アンケートによる受講者からの意見に加えて、担当職員も一緒に講座を聴講し、内容を確認している。

委員 富岡公民館の「ヤンゴンかるた」事業が2つに分かれている理由を伺う。

事務局 対象が5年生（国際理解が目的）と、6年生（キャリア教育が目的）で異なるためである。学校連携事業の一環で、学校側と調整した結果を反映した。

委員 当代島公民館の育児相談事業について、先着8組は予約が必要か。

事務局 予約が必要である。予約方法は電話か窓口に来館いただく。

委員長 中央公民館の「こどもプログラミング」事業について、小学生のパソコン持参が要件となっている。学校と家庭での学習を想定し学校で貸与したタブレットを使用しても良いか、学校にも公民館にも問合せが想定されるが、考え方について伺う。

事務局 破損等のリスクから、学校で貸与したタブレットの使用は想定していない。その旨は告知の際にも記載したい。

委員 富岡公民館が市政施行40周年で浦安の歴史に関する事業を実施する。浦安を知る機会となり、中町で実施することがとても興味深いと感じた。

- 委員 中央公民館が実施した「ヤンゴンかるた」を小学5年生の息子が受講し、印象に残ったようだ。体験型で多文化や多国籍に触れる一歩が公民館で良かったと感じた。また、書道作品等を公民館に展示することで、親も他の子の作品を鑑賞できる意義を感じている。公民館からの働きかけで、子どもたちの目が輝く取り組みが増えており、今後の継続に期待したい。
- 委員 10代がネット社会で繋がったことに起因した事件、学生や若い保護者がネットからの情報を鵜呑みする状況が散見される。来年度の事業計画にあたっては、現代的課題や子育て世代への取り組みとして、ネットリテラシーに関する事業の実施が必要と考える。
- 委員 来年度は8年ぶりに三社祭が開催される。久しぶりで子どもたちも参加に戸惑う可能性があるため、公民館でも三社と協力した事業を実施できないか。
- 事務局 頂戴したご意見を踏まえ、今後の事業計画に役立てていきたい。

(3) 協議事項

公民館主催事業の基本体系のうち、重点課題・重点取組の実施期間が令和6年度までとなっている。事務局案として、理念等の大枠については令和6年度の審議会において議論し、令和7年度より改正すること。本年度は資料（新旧対照表）のとおり、文言等の軽微な修正に留めることを諮り、承認された。

次回の第4回公民館運営審議会は、令和6年3月8日（金）または3月12日（火）の日程で調整し、高洲公民館で実施することを確認し閉会。

（閉会：午前11時30分）